

◎ 東京DMAT通信復刊にあたって（東京DMAT運営協議会事務局）

平素より東京DMAT活動に関しまして、多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。東京DMATは平成16年8月に全国に先駆けて発足し、来年には10周年を迎えます。この間、指定病院25、隊員数1000人を擁するまでになりました。現場活動実績は、新潟県中越地震、渋谷温泉施設爆発事故、秋葉原無差別殺傷事件、東日本大震災関連の大規模なものだけでなく、多くの都民に日常に起こりえるレスキュー活動を伴った救急事案など、約300回を数えました。今後も、発足当初の理念を保ちつつ、更なる都民の健康の安心・安全に寄与できるものでありつづけるため、『特殊災害（NBC）』、『都外派遣』、『首都直下地震への備え』を踏まえた『教育・研修』の修正・追加を行ってまいります。

かつて、東京DMAT運営協議会事務局では東京DMAT隊員間の情報共有を図るため、「東京DMAT通信」を発刊しておりましたが、長らく中断をしていました。

東京DMAT運営協議会では、「東京DMATは、単に複数の病院から隊員が集合したものではなく、個々の出自や価値観の相違を超えて、共通の目標（organizational goal）を実現するために、隊員が一致団結し、さらに消防をはじめとする他職種と連携することによって有機的に動けるようなシステムの構築」を目指しています。このため、東京DMATの活動状況、医療圏内や地域に密着した訓練、その他の情報等を隊員間で共有するため、DMAT通信を復刊することになりました。

災害あるいは大規模災害時に「一人でも多くの、救われるべき命を救う」という基本理念のもと、東京DMATをさらに進化させていくため、ご協力をお願いします。



NBC災害活動の安全性
を検証する実証訓練



DMAT隊員養成研修



都外派遣（東日本大震災）

◎ トピックス

1 平成25年度東京都・あきる野市総合防災訓練の実施

平成25年11月23日（土）あきる野市の都立秋留台公園において、総合防災訓練が実施されました。青梅市立総合病院、都立多摩総合医療センター、東京医科大学八王子医療センターの東京DMAT3チームが土砂災害現場を想定した救出救助訓練に参加し、警察・消防・自衛隊と連携した救護活動を行いました。



現場出場する多摩総合



救出現場での青梅総合



救護所内活動する東京医大八王子

2 南多摩保健医療圏災害医療図上訓練の実施

平成25年12月14日(土) 東京医科大学八王子医療センターにおいて、南多摩保健医療圏災害医療図上訓練(地域災害医療コーディネーター:東京医大八王子医療センター 新井先生)が実施されました。訓練終了後、参加した各機関や東京DMAT隊員は、医療対策拠点となる東京医大八王子医療センターの施設、設備や、東京DMATの出場体制、資器材などの見学をしました。



※今後の図上訓練予定

実施予定	医療圏
平成26年1月25日	区南部保健医療圏(東邦大学医療センター大森病院)
平成26年3月中旬~下旬	区西部保健医療圏(東京医科大学病院)

◎ 事務局からのお知らせ 東京DMAT隊員資格の更新について

今年度から、過去3カ年度間において、東京DMAT活動の機会が無かった隊員に対する技能維持を目的として、更新時研修を行います。今年度は、検証を兼ねて、該当する隊員に対して①「院内教養」、②「インストラクターの解説による訓練見学」を予定しています。

なお、今年度中も東京消防庁や各消防署での訓練が予定されていますので、更新時研修に該当する方は積極的に訓練に参加しましょう。(訓練案内は別途行います。)

更新時研修受講免除者

- ・ 過去3カ年度において、東京DMAT出場・訓練等に参加している。
- ・ 東京DMAT各委員会の委員
- ・ 東京DMAT養成研修等のインストラクター
- ・ 東京都が認める行事や会議等に参加している。

研修の流れ

①

各病院施設で予め、各院内のインストラクターから教養を受ける。

②

他の東京DMAT訓練の見学
東京都から依頼するインストラクターの解説を受ける。

事務局では、東京DMAT通信に対するご意見・ご要望・情報提供をお待ちしていますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。

発行 **東京DMAT運営協議会事務局**
東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課災害医療係
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4445(直通)
FAX 03-5388-1441
メールアドレス S0000299@section.metro.tokyo.jp